

大人が教えて子どもの能力が育つことが、教育。

「やってみたい」を大事にして、子ども自ら「遊んで育つ」ことが“遊育”。

“遊育”とは、“遊び”を通して、体力の向上や心の発達を育むことです。

安平町では幼児期～学童期の子どもたちが主体的に遊べるよう「場所、機会、遊びそのもの」を提供し、安平町の雄大な自然を生かした学びの多い遊び場をつくっています。



好きが増える、好きが深まる。

7月10日（土）に早来小学校裏の丘（すすらの丘）で「すすらん遊びフェスタ！」を開催しました。

参加者21名と多くの方（早来地区のみならず、多様な地域からの参加、地域住民だけでなく学校現場の方など）に参加していただきました。

内容としては

- ・遊びコーナーを設け、大人と子どもが触れ合い
- ・探検ツアーを行い、丘にはどんな植物がいるのかなどを感じて
- ・すすらの丘の活用について考え、アイデアを出していただきました。

一部アイデアとしては・「カフェができれば良い」・「お祭りなどに使えたら！」など

主 催

（受託者）株式会社 FoundingBase

（委託元）安平町教育委員会



遊育 web サイト



遊育 Facebook



遊育 line@

安平町は、ユニセフが選ぶ子どもにやさしいまち

安平町は、ユニセフが掲げる「子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）」の検証作業がなされている日本で5つの自治体の一つです。

安平町は2019年4月から「遊育」「あびらぼ」「カイトク」という3つの事業（あびら教育プラン）によってすべての世代に教育機会を提供しています。

子どもから大人までの「豊かに生きるために挑戦する人」を応援し、教育を通してより良い町を作ることを目指しています。